

質問 生活困窮者自立支援事業のうち、自立相談支援事業と就労準備支援事業の内容は。

答弁 メイプル地下の奥州パーソナルサポートセンター内に「くらし・安心応援室」を設置し、6名の相談員が対応している。

質問 医師奨学生の新規応募がないが。

答弁 医大すべてに案内書を出している。在学中の医学部生にもすすめている。

産業経済部門

質問 ジョスカフェ奥州の現状と今後の方向については。

答弁 ジョブカフェは開設し3年になるが、若者を中心に求職相談・就職悩み相談や生活相談も行っている。相談件数はおおむね増減がないが、就職決定率は近年高まっている。平成27年では111人であったが、平成29年1月末では、114人となっている。

質問 観光物産協会の事業補助についてどのように考えるのか。おこなった事業に対する補助を行うべきと

思うが。

答弁 自分たちで計画を立て、実行・評価したことに補助することが望ましい。商工会議所については、切り替えている。今後、観光物産協会についても29年度に内容を詰めるために協議していく。

質問 つぶ沼森の家の管理運営、施設整備についてどのように考えているのか。

答弁 バンガローは29年度に廃止。管理棟を山小屋的な簡易宿泊機能強化する。簡易なカーサイト区画を作る。遊歩道は下草刈りや看板設置を行う。炊事場の補修、施設内案内看板の設置、登山口のトイレの修理等を行う。

質問 インターシップ事業補助金はどうのような内容なのか。

答弁 29年度から実施する。市内の企業のインターシップに参加する大学生・短大生・専門学生の交通費・宿泊費の一部を補助するもの。交通費は最大1万円、宿泊費は市内の施設を使い、1日2500円、4日間で最大1万円補助する。

質問 現工業団地は手狭になってきつつあるが、新工業団地開発についてはどのように考えているのか。

答弁 自動車関連企業・半導体関連企業の誘致が進む可能性がある。新しい工業団地開発については、現在調査段階である。工業団地の整備には上下水道や道路整備等も関係している。

民間の力の利用も考えられる。29年度から検討を強めていく。

質問 市保有林の整備はどのようになっているのか。

答弁 市の管理の森林は2700haであり、29年度は台帳を基に15haを伐採・売り渡しを行う。森林整備計画に基づき実施する。

建設環境部門

質問 空き家対策について伺う。

答弁 危険な空き家は空家特措法など関係法令により措置できる。関係法令の中で出来る基準・取扱いを空き家対策基本計画の中に定め年度毎に具体化を図りたい。

質問 クリーンパークの有効活用に

ついて伺う。

答弁 温水プールの特性を活かした健康・スポーツの振興など最大限の利用を考え、あるべき姿を広く議論したい。利用促進に向け江刺開発振興(株)と協議したい。



クリーンパークの有効活用を

質問 防災対策の改善点について伺う。

答弁 一次避難所に防災アンテナの設置、各地区センターへの収容被災者用テレビ2台の設置。救急箱・毛布の配布を検討。一次避難所における地区外避難者の受入れや指定小学校の認識不足との指摘に対し今後説